

「学力の三要素」と入学者選抜における「評価方法」との関係

◎：特に強く関連している

○：強く関連している

△：関連している

		アドミッション・ポリシー 学力の三要素					
		知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度		
		AP1-1	AP1-2	AP-2	AP3-1	AP3-2	
入試種別	評価方法	高等学校の教育課程を幅広く修得している。		国際学部で学ぶために必要な高等学校卒業相当の知識があり、入学後の学修に必要な技能を有している。とくに、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションの基礎技能を日本語、外国語において身に付けており、また各地域の歴史や文化、社会の仕組みについて、その特性を理解し、数量的な分析を行うための基礎知識を身に付けている。	国際学部での学びを通して、異文化への豊かな感性や多様な価値観、国際交流の場で求められる的確な表現力や判断力を身に付けようとする意欲を有している。	国際的な政治・経済・社会の仕組みや諸地域の文化やその交流・関係に関心を持っている。	グローバルな課題の解決のために、リーダーシップを発揮して異文化を背景にもつ他者との協働作業に積極的に関わり、その経験を将来のキャリアや社会活動に活かそうとする意欲がある。
総合型選抜	面接・プレゼン方式	調査書	◎	◎	△	○	○
		課題・プレゼン			○	◎	◎
		面接・プレゼン	○	○	◎	◎	◎
	基礎学力方式	調査書	○	○	△	○	○
		課題			◎	◎	◎
	基礎確認テスト	◎	◎				
学校推薦型選抜	公募制 卒業生子女	推薦書・調査書	◎	◎		○	○
		小論文	◎	◎	◎		
		面接	△	△	◎	◎	◎
	指定校制 併設校特別	推薦書・調査書	◎	◎		○	○
		課題	○	○	◎	○	○
		面接	△	△	◎	◎	◎
特別選抜	海外帰国子女 社会人	小論文	◎	◎	○		
		筆記試験(英)	◎	◎	◎		
		面接	△	△	◎	◎	◎
	児童養護施設等 出身者	書類審査	◎	◎		○	○
		小論文	◎	◎	◎		
		面接	△	△	◎	◎	◎
留学生入試	外国人留学生	書類審査	○	○	○	○	○
		筆記試験(日)	◎	◎	○		
		面接	◎	◎	◎	◎	◎
一般選抜	全学統一方式	筆記試験	◎	◎	○		
	2月日程前期	筆記試験	◎	◎	○		
	2月日程後期	筆記試験	◎	◎	○		
	共通テスト利用(基準点型)	筆記試験	◎	◎	○		
	共通テスト利用(2月)	筆記試験	◎	◎	○		
	共通テスト利用(3月)	筆記試験	◎	◎	○		
	共通テスト併用	筆記試験	◎	◎	○		
編入学	編入学試験	書類審査	○	○	△	△	△
		筆記試験	◎	◎	○		
		面接	△	△	◎	◎	◎

本学部のアドミッション・ポリシーに合致した学生を受け入れるために、以下に示す選抜方法を実施する。

◆総合型選抜

・面接・プレゼン方式は、面接・プレゼンによって、「知識・技能」のほか「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」についても評価する。

◆学校推薦型選抜

・指定校制推薦は、面接と課題によって「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価する。

・卒業生子女推薦は、小論文によって「知識・技能」について、面接によって「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価する。

・公募制推薦は、小論文によって「知識・技能」および「思考力・判断力・表現力」について、面接によって、「思考力・判断力・表現力」および「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価する。

◆特別選抜、外国人留学生入試

・海外帰国子女選抜および社会人選抜は、小論文と面接によって、「知識・技能」のほか「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」についても評価する。

・外国人留学生試験は、主に「知識・技能」（特に日本語の運用能力）と「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を中心に評価する。

◆一般選抜

・筆記試験によって、主に「知識・技能」の面について評価し、記述式問題により「思考力・判断力・表現力」を評価する。「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」については、調査書により評価する。

◆編入学試験

・筆記試験と面接によって「知識・技能」のほか「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」についても評価する。